

## 乙艦セーリングクラブが3位入賞

### 第23回全日本A級ディンギー選手権大会

2013年の全日本A級ディンギー選手権大会で、市大ヨット部OB会の乙艦セーリングクラブチームは、FRP艇部門で第3位に入賞しました。昨年、琵琶湖で開かれた大会で優勝したのに続き、今年も好成績を収めました。

同大会は6月22、23日の両日、千葉市稲毛海岸沖の東京湾で開かれたもので、全国の大学OB会などから合わせて41チーム305人のオールドセーラーらが集まりました。乙艦SCからは中川二郎(化40)、小山泰彦(商42)、伊藤恭弘(商45)、谷津孝一(同)、塩野崎英二(商48)、遠藤青史(同)、黒崎輝雄(数51)、江本清彦(商51)の8人が、FRP1089艇で参加しました。

レースはシニア(艇長70歳以上)、強化プラスチック製のFRP艇、木造艇の各部門ごとに行われ、乙艦SCがエントリーしたシニアには49艇、FRP艇部門には27艇が参戦して互いのセーリング技術を競い合いました。

初日の本戦第1レースは南西の風3メートルの順風。本部船寄りからのスタートが有利だったため、1089艇は最も本部船近くからスタートを切りましたが、すぐ風下側に多くの艇がひしめき悪影響を受けそうになったため、すかさずタック(方向転換)して羽田方向の海面に突っ込みました。しかし、東京方面からの強い潮の流れに押されて第1上マークが上りきれず、反対方向のコースを引いた東大チームにかわされ、惜しくも2位に甘んじました。

第2レースも南西の風でしたが、次第に強くなり5メートル。海面には波長の短い波が目立ってきました。やはり最も本部船寄りからトップスタートした1089艇は、全艇を完全に押さえる格好でレースを展開。今度はそのまま千葉方向にコースを取り、他艇を終始リードして見事トップフィニッシュを飾りました。

風がさらに強くなり沈艇が続出したため、初日はこの2レースで終了。暫定成績は2位チームに4点差をつけてトップを維持し、全日本連覇の夢がちらつきました。ところが2日目第3レースで20位と思わぬ不覚を取り、優勝の望みが消えてしまいました。しかし、最終第4レースは4位に食い込み、総合成績

で3位入賞を果たしました。

シニア部門は初日18位と振るわなかったものの、2日目のレースで4位に入り総合8位の成績でした。

各レースの出場メンバーと成績は次の通り。(Sは艇長、C乗員)

シニア部門第1レース	S中川、C江本	18位、	風向210度、	風速2m
第2レース	S中川、C塩野崎	4位、	60度、	1.5m
FRP部門第1レース	S谷津、C伊藤	2位、	230度、	3m
第2レース	S江本、C谷津	1位、	230度、	5m
第3レース	S塩野崎、C遠藤	20位、	30度、	2m
第4レース	S黒崎、C伊藤	4位、	130度、	4m

FRP艇総合成績(入賞チームのみ)

- ① サニーサイド Jr (関東学院大) 14点
- ② 清和御門ヨット倶楽部 (立命館大) 22点
- ③ 乙艦セーリングクラブ (横浜市大) 27点
- ④ 鹿児島大桜帆会 41点
- ⑤ 関西大A級ガンタークラブ 42点
- ⑥ 清和御門ヨット倶楽部B 48点

(注) 乙艦(おっとも)セーリングクラブの命名は、横浜市大ヨット部が60数年前、横浜市金沢区にある野島の乙艦海岸で産声を上げたことにちなむ。

以上